

## 【研究概要】

包括的同意を得た患者または健常ボランティアの生体サンプル（主に血液または組織）と医療情報を関西医科大学（以下 KMU）バイオバンクセンターで匿名化し、一元管理をおこなう。さらに、学内の各講座が自由にバイオバンクセンター内のデータベースを閲覧し利用することが出来るシステムの構築を目指す。第三者が介入し管理することが出来るシステムを用いることで、① サンプル提供者の人権と個人情報の保護、②学内の医学研究の活性化につながると期待される。